

2019(令和元)年度 「年度末学校関係者評価」(外部評価)

	項 目 (重点としたものに○)	学校の目標達成状況及び学校の取組の適切さ、改善方策について等の意見(外部評価者からの指摘を基に記載)
教育環境の 充実	① 学校安全の推進	学区内で起こった土砂崩れについては、通学路の安全をさらに確保していかなければならない。日頃の通学路の安全についても心を配っていかなければならない。 地域との協働については、地域も高齢化していく中、若手の発掘をおこない、連携を進めていく。 学校評価の中で肯定的な割合が 70%を下回るものについては改善が必要である。
	②教育情報化の推進	
	③地域との協働推進	
	④学校評価を生かした学校づくり	
I 学習指導の 充実	① 授業改善の推進	授業改善についてはよい方向に向かっていると考えている。人が変わっても持続可能な逗子中学校を実現して欲しい。 体験活動を重視した教育課程の編制をしていきたい。学校評価の中で肯定的な割合が 70%を下回った、補習について方策を講じていきたい。
	②健康体力づくりの推進	
	③体験活動の充実	
	④今日的課題への取組	
II 支援の充実	① 支援環境の充実	小学生を中学校に招く時期を見直し、保護者共々学校を公開できるようにしていきたい。 生徒を支援する仕組みについては対象とする生徒の多様化に伴って、多様な対応ができるようにしていかなければならない。外部機関との連携も大切な要件である。
	②安心できる居場所づくりと絆づくりの推進	
	③問題行動対策・不登校対策の推進	
	④幼・保・小及び小・中の連携推進	
III 学校組織の 充実	①学校・学年・学級経営の充実	学年学級経営については学年を一つのチームとして動かして欲しい。 研究についても次年度の委託研究の本発表を期待している。働き方改革が浸透し始めている。生徒に本当に必要なものに関しては、残していかなければならない。
	②研究・研修の充実	
	③信頼に基づいた指導の推進	
	④働き方改革の推進	